

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 対象学年

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、支援学校小学部第6学年の全児童＜大阪府（公立）実施数 995校 71,298人＞
 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第6学年、支援学校中学部第3学年の全生徒＜大阪府（公立）実施数 470校 71,889人＞

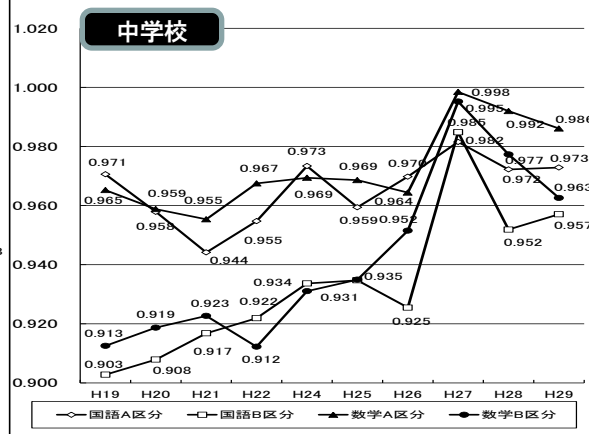
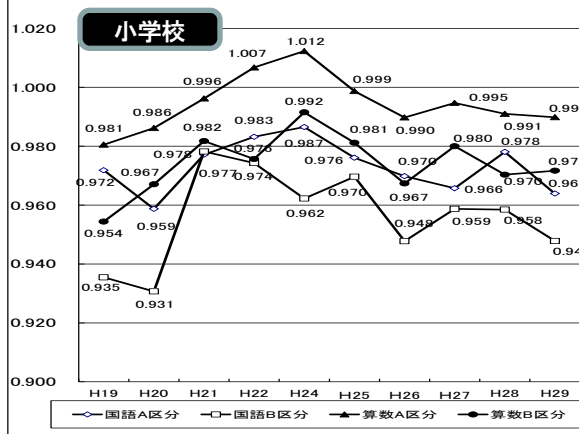
(3) 調査内容

- ① 教科に関する調査(国語、算数・数学)
 - ・主として「知識」に関する問題(国語A、算数・数学A)
 - ・主として「活用」に関する問題(国語B、算数・数学B)
- ② 質問紙調査(児童生徒に対する調査、学校に対する調査)
- (4) 実施日 平成29年4月18日(火)

校種・教科・区分別 正答率比較/対全国比経年比較

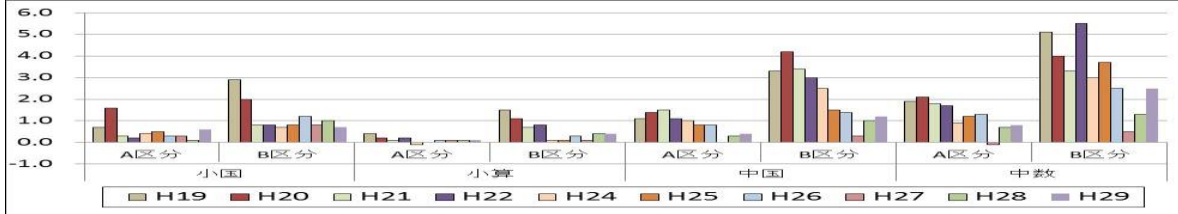
※H22、H24は抽出調査

	H19			H20			H21			H22			H24			H25			H26			H27			H28			H29			
	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差				
小国	A区分	79.4	81.7	-2.3	82.7	85.4	-2.7	88.3	89.9	-1.6	81.9	83.3	-1.4	80.5	81.6	-1.1	81.2	82.7	-1.5	70.7	72.9	-2.2	67.6	70.0	-2.4	71.3	72.9	-1.6	72.1	74.8	-2.7
	B区分	58.0	62.0	-4.0	47.0	50.5	-3.5	49.4	50.5	-1.1	75.8	77.8	-2.0	53.5	55.8	-2.1	47.9	49.4	-1.5	52.6	55.5	-2.9	62.7	65.4	-2.7	55.4	57.8	-2.4	54.5	57.5	-3.0
小算	A区分	80.5	82.1	-1.6	71.2	72.2	-1.0	78.4	78.7	-0.3	74.7	74.2	0.5	74.2	73.3	0.9	77.1	77.2	-0.1	77.3	78.1	-0.8	74.8	75.2	-0.4	76.9	77.6	-0.7	77.8	78.6	-0.8
	B区分	60.7	63.6	-2.9	49.9	51.6	-1.7	53.8	54.8	-1.0	48.1	49.3	-1.2	58.4	58.9	-0.5	57.3	58.4	-1.1	56.3	58.2	-1.9	44.1	45.0	-0.9	45.8	47.2	-1.4	44.6	45.9	-1.3
小理	A区分																														
	B区分																														
中国	A区分	79.2	81.6	-2.4	70.5	73.6	-3.1	72.7	77.0	-4.3	71.7	75.1	-3.4	73.1	75.1	-2.0	73.3	76.4	-3.1	77.0	79.4	-2.4	74.4	75.8	-1.4	73.5	75.6	-2.1	75.3	77.4	-2.1
	B区分	65.0	72.0	-7.0	55.2	60.8	-5.6	68.3	74.5	-6.2	60.2	65.3	-5.1	59.1	63.3	-4.2	63.0	67.4	-4.4	67.2	51.0	-3.8	64.8	65.8	-1.0	63.3	66.5	-3.2	69.1	72.2	-3.1
中数	A区分	69.4	71.9	-2.5	60.5	63.1	-2.6	59.9	62.7	-2.8	62.5	64.6	-2.1	60.2	62.1	-1.9	61.7	63.7	-2.0	65.0	67.4	-2.4	64.3	64.4	-0.1	61.7	62.2	-0.5	63.7	64.6	-0.9
	B区分	55.3	60.6	-5.3	45.2	49.2	-4.0	52.5	56.9	-4.4	39.5	43.3	-3.8	45.9	49.3	-3.4	38.8	41.5	-2.7	56.9	59.8	-2.9	41.4	41.6	-0.2	43.1	44.1	-1.0	46.3	48.1	-1.8
中理	A区分																														
	B区分																														



校種・教科・区分別 無解答率 対全国差経年比較

	H19			H20			H21			H22			H24			H25			H26			H27			H28			H29			
	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差	大阪府	全国	差				
小国	A区分	2.7	2.0	0.7	12.5	10.9	1.6	10.2	9.9	0.3	2.8	2.6	0.2	3.4	3.0	0.4	11.2	10.7	0.5	2.6	2.3	0.3	3.9	3.8	0.1	5.4	5.3	0.1	3.4	2.8	0.6
	B区分	11.6	8.7	2.9	14.3	12.3	2.0	12.9	12.1	0.8	5.0	4.2	0.8	7.3	6.6	0.7	14.4	13.6	0.8	10.4	9.2	1.2	6.9	6.1	0.8	5.6	4.6	1.0	5.0	4.3	0.7
小算	A区分	1.5	1.1	0.4	3.2	3.0	0.2	2.2	2.1	0.1	2.6	2.4	0.2	2.2	2.3	-0.1	1.7	1.7	0.0	1.0	0.9	0.1	1.9	1.9	0.1	1.9	1.8	0.1	1.7	1.6	0.1
	B区分	7.4	5.9	1.5	7.1	6.0	1.1	6.9	6.2	0.7	7.0	6.2	0.8	4.7	4.6	0.1	8.4	6.3	2.1	4.8	4.3	0.5	9.2	9.1	0.1	7.8	7.4	0.4	6.8	6.4	0.4
中国	A区分	4.6	3.5	1.1	5.2	3.8	1.4	4.8	3.3	1.5	3.8	2.7	1.1	4.5	3.5	1.0	3.2	2.4	0.8	3.9	3.1	0.8	2.6	2.6	0.0	2.9	2.0	0.9	2.8	2.4	0.4
	B区分	8.5	5.2	3.3	12.9	8.7	4.2	9.0	5.6	3.4	9.8	6.8	3.0	7.3	4.8	2.5	4.3	2.8	1.5	4.9	3.5	1.4	2.5	2.2	0.3	5.4	4.4	1.0	5.0	3.8	1.2
中数	A区分	6.0	4.1	1.9	8.7	6.6	2.1	6.9	5.1	1.8	8.0	6.3	1.7	3.6	2.7	0.9	6.5	5.3	1.2	5.6	4.3	1.3	3.6	3.7	-0.1	7.0	6.3	0.7	7.1	6.3	0.8
	B区分	19.5	14.4	5.1	17.4	13.4	4.0	13.0	9.7	3.3	24.8	19.3	5.5	16.1	13.1	3.0	20.4	16.7	3.7	13.4	10.9	2.5	15.8	15.3	0.5	16.0	14.7	1.3	14.2	11.7	2.5



(1) 学力調査結果の概要

小学校では、昨年同様、全国平均よりやや低い状況が続いている。特に国語の課題が大きい。

中学校では、以前と比べて改善した状況にあるものの、数学で全国との差はやや広がっている。また、国語・数学ともにB区分の課題が大きい。

○ 平均正答率の全国との差

小学校：最小-0.8ポイント 最大-3.0ポイント
 中学校：最小-0.9ポイント 最大-3.1ポイント

○ 無解答率の全国との差

小学校：ほぼ全国平均に近い状況であるが、国語に課題が見られる。
 中学校：改善傾向にあったものの、全教科・区分で、全国平均との差が拡大した。

(2) 学習状況調査結果の概要

○ 調査結果の活用が定着

全国学力・学習状況調査等の結果を教育活動の改善のために活用している小中学校は、全国平均を上回っている。ただし、学校全体の学力傾向や課題については、更に全教職員で共有することが必要。

○ 基礎的・基本的な事項の定着に課題

基礎的・基本的な事項の定着及び反復練習の取組みを「よく行った」と回答した学校が全国平均を下回っており、改善が必要。

○ 授業における子どもの主体的・対話的な学習活動に課題

授業の中で話し合う活動は、小中学校とも増加しているものの、依然として学校と児童・生徒の意識の間にスレがある。

○ 家庭における学習に課題

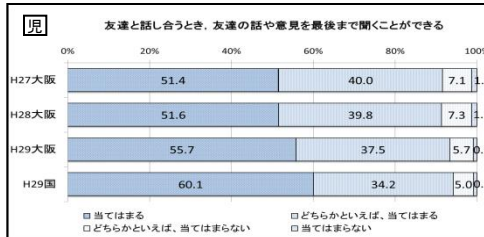
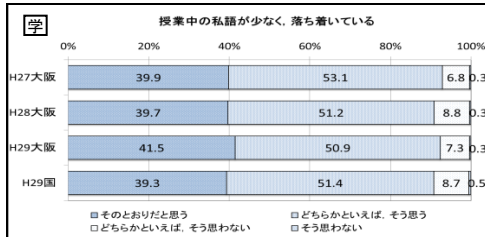
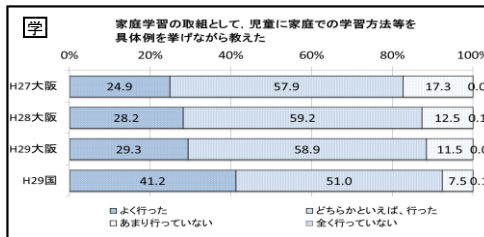
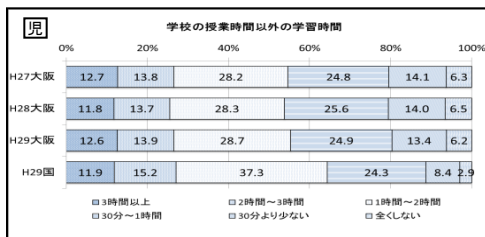
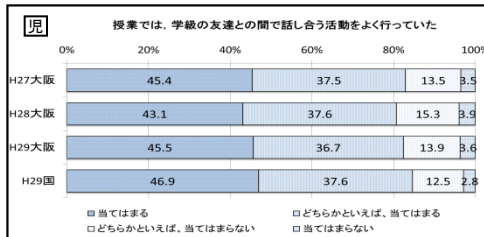
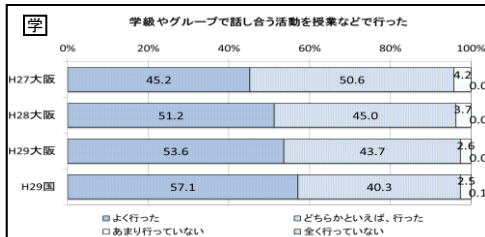
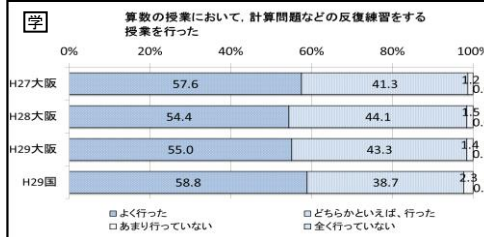
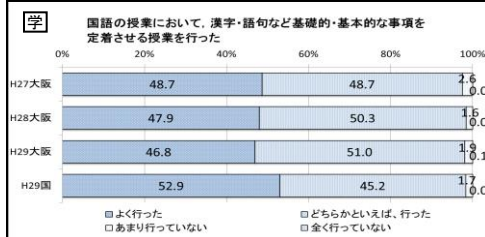
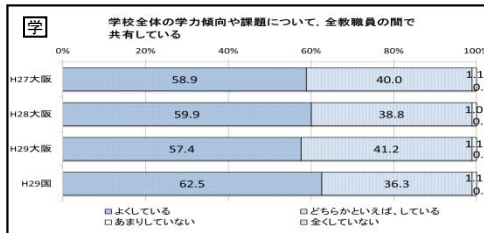
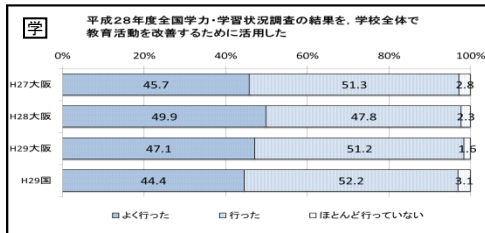
授業以外の学習時間が、30分未満の子どもについては、依然として全国平均との差が大きい。小中学校とも、家庭学習の方法を具体的に教える取組みの改善が必要。

○ 学びを深めるための学習環境づくりに課題

「授業中落ち着いている」と回答した小学校は、全国を上回り、中学校でも改善が続いている。一方、「友達の話や意見を最後まで聞くことができる」と回答した児童・生徒は、全国平均を下回っている。

小学校

学...学校質問紙調査 児...児童質問紙調査



中学校

学...学校質問紙調査 生...生徒質問紙調査

